

# バックアップソフトウェアを 更新する前に 尋ねるべき5つの重要な質問

変更するかどうか: 現在使用しているバックアップソリューションは  
これら5つの重要な基準を満たしていますか?

すべてのものは変わっていくということを誰もが知っています。現在の最新のIT環境はまさにその通りです。今日のデータセンターはどんどん進化し、変化していくので、ペースを合わせていくのは大変です。クラウド、マルチクラウド、SaaS、コンテナ、自動化、データ プライバシーなどすべてがこの変化を加速化させています。既存のバックアップソリューションに保守更新またはメジャー アップデートが必要な場合、既存のソリューションを刷新する時期がきていないかどうか再評価する必要があります。

既存のバックアップソリューションをそのまま使い続けるほうが簡単に見えるかもしれませんが、しかし、もしそのソリューションがあなたのニーズを満たすことができないなら、それは本当に“簡単”でしょうか? 事実、Gartner社の予測では、2022年までに組織の40%が、2018年の初めに導入したバックアップアプリケーションをリプレースすると報告しています。<sup>\*1</sup> さまざまな角度から検討し、以前に選択したソリューションが、今後数年間にわたり依然ビジネスの要求に応えることができることを確認しておく必要があります。現状維持は、長期的にはあなたやあなたの組織のニーズを満たすことができなくなります。

体系的なアプローチを取ることで、バックアップ/リカバリソリューションについて賢明で情報に基づいた意思決定を行うために必要な重要な留意事項を迅速に確認することができます。バックアップソリューションの現在の状況进行评估し、新しいテクノロジーの進歩がどのように変化を支えてくれるのかを考えてみてください。これらの質問を、現在のバックアップベンダーだけでなく、検討し得るすべてのベンダーに投げかけてください。今日のニーズだけでなく、将来のニーズも満たすことができるかどうか分かります。あなたはその答えに驚くかもしれません!

## 1 このソリューションで本当にすべてのデータを管理することができますか?

データセットの種類ごとに異なるバックアップ/リカバリ製品を導入し管理することは、時間とリソースの浪費です。さらには、データを見つけるなどの簡単なタスクでさえ、複数の保存場所を調べる必要があるため事態を悪化させます。誰が何をバックアップしているか把握していますか? バックアップを取り忘れていたデータはありませんか?

バックアップ/リカバリソリューションがすべてのデータをサポートする準備ができているかどうかを確認するには、下記の質問をしてください:

- データがどこにあってもバックアップできますか? オンプレミス? マルチクラウド? 仮想化? 物理? アプリケーション? コンテナ?
- データを必要な場所に素早くリストアできますか? クラウド? ハイパーバイザー?
- データのニーズを満たすため、多くのスクリプトや専用ハードウェアに依存していませんか?
- 物理、仮想、ハイパーコンバージド環境、クラウド環境全体を保護できるだけでなく、単一のユーザー インターフェイスを使用してデータを検索しリカバリすることができますか?
- すべてのデータに一貫性のある管理ポリシーを適用し、かつ、組織の価値に最も見合うストレージ インフラストラクチャにデータを階層化して保存することができますか?
- ランサムウェアやその他マルウェアなどの脅威からバックアップ データ自体が安全であることを確認するための保護機能が組み込まれていますか?

## 2 使い方が簡単で、柔軟性もありますか?

これは“基本的な”とか“機能が制限された”という意味ではなく、“難しいタスクを簡単に行えるか?” という意味です。わかりやすい自動デプロイメント オプション、直感的に操作可能なユーザー インターフェイス、SLAを簡単に定義できる機能を備えたソリューションを探する必要があります。最初の購入から継続的な管理とサポートまで、バックアップとリカバリソリューションはプロセスをシンプルにするべきもので、複雑さを増すものであってはいけません。

ITライフを楽にするには、次の質問をする必要があります：

- 例外の管理をすることができますか？ 言い換えると、そのソリューションは発生する可能性のある問題を迅速に特定し、対応することができるよう合理化されたインターフェースを提供していますか？
- 場所、アプリケーション、ストレージの種類に関係なく、ユーザーは全システム環境のデータにアクセスし、管理、保護することができますか？
- そのソリューションは、“自動運転” できますか？ それとも多くの実践を必要としますか？ そのソリューションにはどの程度の自動化とインテリジェンスが組み込まれていますか？ 機械学習やAIを活用し、より効率的な運用をサポートしていますか？
- そのソリューションはデータを管理し、同じクラウド内だけでなくクラウド間でのデータ移行が簡単に行えますか？ そのソリューションはネイティブの機能でデータ移行が行えますか？ それともゲートウェイや他のサードパーティー製品が必要になりますか？

バックアップ インフラストラクチャのシンプル化を検討する際、スケールアウト型のテクノロジーも考慮すべき事項のひとつです。複数の導入シナリオをサポートすることができるソリューションは、何を、どこに、どのようにインストールしたいかを柔軟に選択することを可能にします。スケールアウト型ならインフラストラクチャの拡張が必要なときシームレスに行えるので、当面のニーズをカバーするものだけを購入することができ、経済的にも物事をシンプルすることができます。

Gartner社の  
予測によると、  
2022年までに

40%

の組織が2018年の始めに導入したバック  
アップ アプライアンスをリプレースすると  
報告しています。

ガートナー社「データセンター バックアップ  
/リカバリ ソリューションのマジック・クアドラ  
ント」2019年10月10日

### 3 それは“将来も使える”ソリューションですか？

テクノロジーとビジネス要件は急速に変化します。現在のデータ保護のニーズは、おそらく3年前とは同じではありませんし、1年後でさえ同じではないでしょう。過去3年間で採用した新しいワークロードとアプリケーションをすべて考えてみてください。また、ハイパーコンバージェンス、コンテナの導入、クラウドへの移行により、インフラストラクチャがどのように変わったかを考えてみてください。

今後、システム環境で何が必要になるかを予測するのは困難ですが、一歩先を行くバックアップ/リカバリ ソリューションを選択することは可能です。インフラストラクチャとアプリケーションの変化を予測する時、次の質問をしてください：

- そのソリューションは、本当に特定のテクノロジーに依存していませんか？ 異種混在およびハイブリッド環境をサポートできますか？ もしくは、サポート範囲が狭くないですか？
- さまざまなストレージ アレイ、ストレージ プラットフォーム、クラウド ストレージと連携できていますか？ その連携はスナップショットベースの保護、レプリケーション、迅速なディザスタ リカバリの実行を可能にしますか？
- Amazon AWS、Microsoft Azure、Oracle Cloud、Googleなど、さまざまなパブリック クラウドとネイティブな連携は可能ですか？ 別のサードパーティー ベンダー製品や、高価なクラウド ゲートウェイなどを必要としていませんか？
- データとアプリケーションとの深い連携を可能にする多岐にわたるAPIを提供していますか？ ServiceNow、Splunk、VMware vRealize、vCloud Directorなど他のツールと連携できますか？

これらの基準を満たすことで、ビジネス目標とサポートする技術が変わり続けても、簡単にデータを移動したり、新しいインフラストラクチャを採用したりすることができます。

### 4 その計算は機能していますか？

現実を見ると、重要な検討事項になるのはいつもコストです。バックアップ/リカバリ ソリューションの更新契約を検討する場合、総所有コストに含まれるすべての要素を考える必要があります。ソリューションの真のコストは必ずしも明らかではありませんが、必ず次の質問はしてください。

- バックアップ ソリューションを運用し続けるためにチームが実際に費やす時間はどれくらいですか？ 日次、週次のアドミニストレーション業務、パッチと更新、サポート問題のハンドリングなどバックアップ/リカバリの管理にどれくらいの時間を使っているか考えてください。もし複数の製品を使用している場合、その時間は指数関数的に増加する可能性があります。
- サードパーティーまたは専有の技術が必要ですか？ データ保護ソリューションのインフラストラクチャ要件を計算してください。必要に応じて容量を簡単に拡張および追加することはできますか？ またはストレージのニーズとオーバープロビジョニングのリスクを予測する必要はありますか？

- ご使用のソリューションにはどのようなダウンタイム リスクがありますか? ダウンタイム発生時、リカバリにどれくらいの時間が掛かりますか? それによりあなたのビジネスにどれくらいの費用が掛かりますか?
- テープとクラウドを含むストレージの階層間でデータを簡単に移動することはできますか? そしてそれは、データ ポリシーとサービス レベル要求に基づいて行えますか? さらにストレージ ニーズを削減するため、データはソース側とターゲット側でネイティブに重複排除されていますか? 重複排除またはクラウド ストレージ アクセスには追加のハードウェアを必要としますか?
- ストレージ、コンピュータ、クラウド ベンダーを変更できますか? これらどれかのベンダーにバックアップとの依存関係はありますか? そのいずれかを変更すると、バックアップに影響しますか?

更新費用は氷山の一角にすぎません。検討する各ソリューションに関連するすべての費用項目を必ず確認してください。既存のバックアップ ソリューションを維持するにはほかに何が必要ですか? 別のポイント製品 (単一目的の製品) が必要ですか? 特別なハードウェアですか? その他のライセンスですか? 既存のソリューションにてこ入れし続けるか、または新しい製品を評価するかその費用を比べる際は、全体像を把握することが重要です。

## 5 変更の準備はできましたか? リスクは何ですか?

上記の質問への回答に満足できない場合は、バックアップ ソリューションを変更する準備ができています。ソリューションの変更に伴うリスクは何ですか? 変化は常に少し神経質になります。手順を間違えるとダウンタイムまたはデータの損失を招くときはなおさらです。最後のステップを実行する前に、評価しているソリューションが前述の質問に満足のいく答えを出していることを確認してください。最後に、移行自体を検討するときは、次の質問をしてください。

- 新しいソリューションでデータをバックアップする準備はどれくらい迅速に行えますか?
- 既存のバックアップ ワークロードを新しいソリューションへ移行するのにどれくらいの時間が掛かりますか? そのプロセスは自動化されていますか? それとも主に手動作業になりますか?
- チームの作業時間はどれくらい必要ですか? 準備が必要な追加のサービスやトレーニングはありますか? 関連するコストは何ですか? 人手不足の場合、採用する新しいベンダーにリモートで環境を管理してもらうオプションはありますか?
- 新しいハードウェア、ソフトウェア、インストール費用を含めると現在のソリューションの総額はいくらになりますか? システム規模を拡張した場合、そのコストはどのようにになりますか? 来月、来四半期、来年と、そのコストは変化しますか?
- カスタマー サポートの経験はどうか? SLAはどのようになっていますか? グローバルのすべてのロケーションとチーム メンバーとどれくらい容易に連携にできますか?
- 最後に、古いバックアップ データをどうしたいですか? 重要なバックアップを新しいソリューションへ移行する方法はありますか?

新しいソリューションを評価する時は、それが単に“新しい輝くもの”だけではないことを確認する必要があります。そして、あなたの現在のニーズも将来のニーズも満たすことができることを確認する必要があります。柔軟性があり、コスト効率が高く、拡張性に優れ、自動化され、そして (もっとも重要なことですが) 定評のあるソリューションであることが必要です。

この重要な決定の際に慎重に選択肢を検討することで、組織のデータに必要なシンプルさ、低コスト、最新の機能を実現することができます。さらに良いことに、将来データがどのように変わっても準備ができています。

データがどこにあっても、どんなデータでも、すべてのデータをバックアップ/リカバリする準備ができています。さらに詳しい情報は、[www.commvault.co.jp/products/commvault/complete-backup](http://www.commvault.co.jp/products/commvault/complete-backup) をご覧ください。